

浅間山の噴火警戒レベルの引き下げにあたって

本日、気象庁より、浅間山の噴火警戒レベルを2から1に引き下げるとの発表がありました。昨年の6月25日に火山活動の高まりによりレベルが2に引き上げられて以来、約7ヶ月ぶりのレベル引き下げとなり、浅間山と共存している私たち地域にとって明るいニュースとなりました。また、長く続くコロナ禍の中、明るい話題に喜びと希望を感じております。

この間、日々観測を実施いただいている気象庁をはじめ関係機関の皆様のご苦勞に対しまして、あらためて感謝と御礼を申し上げます。

レベルが1に引き下げられたことで、2月6日より火口から概ね500mにある前掛山の山頂まで登山が可能になります。

1都10府県に緊急事態宣言が出されている現在の状況下では、これまで通りに登山を楽しむことは難しいとは思いますが、状況が落ち着きましたら、浅間連峰の大自然をお楽しみいただきたいと思います。

なお、浅間山に登られる際には、活火山であることを常に意識するとともに登山計画書の届出が必要となります。気象情報や小諸市防災情報メール配信サービスなどの情報収集に努められ、十分な体調管理を心がけてください。また、現在は積雪も多く、風も強いなど冬山特有の気象条件であること、コロナ禍において万が一の遭難時でも救助対応が難しい状況であることにもご留意ください。

浅間山は、豊かな恵みを与える一方、これまで時として災いももたらしてきましたが、山麓に暮らす私たちにとっては郷土の誇りであり、大切な観光資源であります。

私たちは、これまでも、そしてこれからも浅間山と共生してまいります。

令和3年2月5日

小諸市長 小 泉 俊 博